

コシヒカリ生育情報 第4号

中干しは小ヒビで終了！
出穂期は平年より2日程度早まる予想！ (6月30日現在)

【6月30日生育状況】 (3か所平均)

平均田植日	草丈 (cm)		茎数 (本/m ²)		葉数 (葉)		葉色 (SPAD)	
	本年	指標値比	本年	指標値比	本年	指標値差	本年	指標値差
5月19日	54	120%	549	114%	9.8	+0.1	41.2	+2.1

○指標値比較【 草丈：長い 茎数：多い 葉数：並 葉色：濃い 】

- ・前回調査から草丈が急伸長しているの(1日あたり約2cm程度)、今後の下位節間の伸長が懸念される。
- ・葉色は指標値に比べて濃い、今後は気温の高い日が続くと予想されており、葉色の低下に注意する。

【今後の管理のポイント】

1 小ヒビが入ったら中干し終了！

- (1) 大ヒビが入ったほ場では一度入水し、稲体活力を確保する。
- (2) 中干しは、出穂1か月前までには終了する(例：8/3出穂→7/4までには終了)。
- (3) 中干し終了後は、浅水の間断かん水から徐々に飽水管理へと移行する。

2 病虫害防除の徹底

- (1) 7月は平年に比べて曇りや雨の日が少ない予報だが、葉色の濃いところを中心に葉いもちの早期発見に努める。
- (2) 斑点米カメムシ類防除のため、農道・畦畔の草刈りや水田内雑草の除去を徹底する。

3 ケイ酸追肥

基肥にケイ酸を施用していない場合は、出穂40日前～1回目穂肥の時期に施用し、収量・品質の向上を図る。

出穂前日数	幼穂長 (cm)
30日	0.02
23日	0.1
20日	0.2
18日	0.5~1.0
12日	4.0~6.0

図1 出穂前日数と幼穂長

【参考】各品種の出穂期予想と穂肥時期の目安 (6月30日現在)

○出穂期は平年より「2日程度」早まる予想。分施肥体系の早生品種は1回目穂肥を遅れず実施する。

品種名	幼穂形成期	予想出穂期	穂肥1回目		穂肥2回目		2回合計窒素量 (kg/10a)
			出穂前日数	施用時期	出穂前日数	施用時期	
つきあかり	6/30	7/23	25~23	6/28~6/30	14	7/9	6
こしいぶき	6/30	7/24	23	7/1	14	7/10	2~3
こがねもち	7/8	7/31	18~15	7/13~7/17	10	7/21	1~3
コシヒカリ	7/11	8/3	18~15	7/16~7/19	10	7/24	1~3
いただき	7/15	8/7	25~23	7/13~7/15	14	7/24	6
あきだわら	7/19	8/11	25~23	7/17~7/19	14	7/28	6

※1 早生・多収性品種は、5/10~5/15、コシヒカリは、5/20~5/25植えを想定して予想

※2 気象条件により出穂期が前後する場合がありますため、幼穂確認を行い出穂期を予想して穂肥を施用